



## ベトナムのアジアゾウ保護

# ヨックドンの森の会 だより

NO2 2010、2、15 発行者=新村 洋子 TEL・FAX 03-3394-1723 E-MAIL kaenjyu@jcom.home.ne.jp

ごあいさつ

会代表

新村 洋子

昨年4月にこの会を発足させて以来、ささやかながら着実に活動を展開してまいりました。今年もよろしくお願ひ致します。

★ 今年1月に「サバンナクラブ」というアフリカ野生動物保護の会から頼まれて、会報に記事を寄せました。それを紹介させて頂き、皆様への報告とさせていただきます。

### 日本でアジアゾウ保護活動を 始めました

新村 洋子

2009年の4月に正式発足した私たちのささやかな自然保護団体、ベトナムのアジアゾウ保護「ヨックドンの森の会」の活動をお知らせします。

かねてより私たちの会に、ベトナムのヨックドン国立公園から野生動物の観察用に日本製の自動撮影カメラの照会を依頼されていました。

苦勞して捜しましたが、値段が45万円とか25万円とかのマニアックなものばかりでした。これではとても購入できないだろうと思っていましたところ、静岡で自然保護活動をしておられる三宅隆さんからアメリカ製の実用的なカメラをご紹介いただきました。

大変安価なので照会などといわず、すぐ購入してヨックドン国立公園に寄贈することに決めました。

ヨックドンの森の会から1台寄贈する計画でしたが、三宅隆さんから「私もベトナムのアジアゾウ保護の活動に参加させて下さい」と同じカメラを会にご寄付くださり都合2台を届けることになりました。

それからそのカメラを森に据え付けて、写真が届くまでに約2ヶ月かかりました。

大型の台風が2回中部高原地帯を襲い、空路が寸断されたこと、直後フエ市のフォン川が氾濫し、会のスタッフ兼通訳のラームさんの会社の事務所が床上浸水の被害に合い私に同行できなくなったからです。

私は一大決心をして通訳無しでカメラを届け、組み立てようとしたのですが、ホーチミン空港→バンメート空港の欠航が続き、カメラをホーチミン市の息子の家に置いたまま帰国せざるを得ませんでした。

状況が好転しラームさんがヨックドン国立公園にカメラを届けたのが10月17日になりました。でもその日は雨、森に据え付けることは出来ませんでした。

ヨックドン国立公園から受領書と感謝状がすぐ日本に届きましたが、私のパソコンに映像が届いたのが11月12日です。

国立公園で心配しているのがカメラを壊されること、盗難にあうことです。それで近日中により安全な、国立公園のツーリズムセンターオフィスから約50km離れたカンボジア国境近くの、森林局第9番監視所近くに移すそうです。

今私が一番心配しているのがゾウの密猟と木材の盗伐です。

今年の6月には森で野生ゾウの死体6体が発見され、8月には2体が発見されました。いずれも象牙を狙ったものです。その中には子ゾウも含まれています。

ダクラック省政府とヨックドン国立公園がゾウ保護活動のための協定を結び、互いに調印、文書の交換をしたのが今年度になってからです。

今、ベトナム全体に野生ゾウは140頭しか確認されていません。それに生息地が互に孤立しているため、絶滅は時間の問題です。

私たち「ヨックドンの森の会」では、その活動に加わせていただき、より正確な情報をお知らせすると共に迅速な保護活動に協力したいと考えています。

今、会員35名で歩き出したばかりの会です。サバンナクラブの皆様には様々な形での応援をお願いしたいと思います。

(「ヨックドンの森の会」代表)

★ 今年もエコツアーを実施します。<3月24日(水)～3月30日(火)>

第5回「ヨックドンの森の会」のエコツアーは2年に1度のドン村象祭りに参加し、古都ホイアン、フエをまわる計画です。まだ人数に余裕があります。お友だちを誘って参加いたしませんか。